

広町 “多世代交流カフェ” オープンプロジェクト ～高専生 DIY 大作戦～

代表者 呉高専・建築学科 5年 平田 ひかる ほかに 16名
(指導教員 宮崎崇文)

要旨：私たちのグループは、呉市広町にある訪問介護事業所の一角にある地域交流スペースをカフェのような空間に DIY (Do It Yourself) することを目的としています。今年度の豪雨災害により作業は大幅に遅れましたが、壁の作成や家具の作成、地域住民との交流を行うことができ、来年度の活動に繋がる 1 年でした。本年度は壁の作成が主でしたが、来年は家具や床を作成する予定です。

1. プロジェクトの目的・目標

呉市は、人口 15 万人以上の中核都市において高齢化率が全国一位になったこともある高齢化が進行した街です。その呉市にある広町は、呉高専・広島国際大学や、イオン、オークアリーナなど、学生から高齢者まで多世代が住む地域といえます。

本テーマは広町にある訪問介護事業所内にある一角を、カフェのような地域交流スペースに改修することにより、多世代の住民が交流できる空間を作ること为目标として一年間活動を行いました。

2. 活動スケジュール

1 年間の活動スケジュールを簡潔に記述します。

4 月	事業所の方と顔合わせ
5・6 月	コンセプト・模型・ロゴのデザイン
7 月	事業所の方へプレゼン (豪雨延期)
8・9 月	活動不可。JR が運休。事業所が災害対応により多忙で打ち合わせができない。
10 月	事務所と打ち合わせ (今後の進め方)
11・12 月	安浦町で珪藻土壁作成 家具の作成 (棚・黒板壁・看板)
1 月	広町の壁の塗装
2 月	安浦町の「認知症カフェ」に参加。 最終報告書の作成など。

3. 活動内容

3-1. 4 月事業所の方と打ち合わせ (写真 1)

呉市広町で訪問介護事業所を運営する法人の社長を呉高専に招き、介護の仕事内容や認知症に関する講義を受けました。この法人の運営する事業所の一角を改修します。場所は広町のイオンの近くにあり、4 月時点では、法人の荷物置場になっており、活用されていませんでした。

3-2. 5～6 月コンセプト等のデザイン

16 人を 3 グループに分け、それぞれでカフェの模型作成、コンセプトのデザインを考えました。私たちのグループは 2 年生が多いので、デザイン系の PC ソフトや模型づくりが初めての人が多く苦労しましたが、参考書で勉強しながら作業を進めました。

3-3. 8.9 月豪雨災害による活動の不可

7 月に私たちの案を事業所の職員様にプレゼンする予定でしたが、豪雨災害により延期になりました。その後も、呉線の運休や交通規制により、当初予定していた夏休みの活動ができなくなりました。10 月から学校が開始しましたが、訪問介護事業所は災害後に職員様が辞めたり、災害後の対応で忙しかったため、しばらく連絡できませんでした。

なので、宮崎先生の紹介により、呉市安浦町にある「川尻・安浦地域包括支援センター」の改修を手伝うことになりました。

広町の事業所とは、10 月後半から連絡をとれるようになり、できる範囲で家具を作っていくことになりました。具体的な依頼として、①トイレ棚の作成、②壁を白く塗る、③家具の修理、④黒板壁の作成、⑤看板の作成、がありました。



写真 1 講義の様子

3-4. 11 月安浦町の珪藻土壁の作成 (写真 2・3)

呉市安浦町にある地域包括支援センターは、豪雨災害に甚大な被害を受けました。しかし、災害前から改修計画が決定していたため、災害後に改修工事が始まりました。施工は積水ハウスです。その工事の中で、「2.7m×12.8m の大壁に珪藻土を塗る左官作業」が私たちに任せられました。もちろん左官の経験は無いので、呉市内の職人さんによるレクチャーを受けながらの作業となりました。「養生 (作業以外の部分が汚れないように保護シートを張る)」がとても大切で、丁寧な作業を心がけようと思いました。

計画では色の違う土で模様を描く予定でしたが、現実にはそうはいかず、その場でデザインを変更しながら、皆の感性で描ききりました。職員様からも好評でうれしかったです。

3-5. 11・12 月家具の作成 (写真 4)

10 月の職員様との打ち合わせで、今年度中に大規模な改修は難しいので、できる範囲の家具作成を依頼されました。特にトイレの棚は既製品ではピッタリの物がないので、私たちが実測して設計・作成しました。他にも、壁に黒板を付けたい、カフェ風の看板が欲しいなどの依頼があったので、作成に入りました。

3-6. 1 月壁の塗装 (写真 5)

広町の事業所の壁を白く塗りました。室内なので、臭いが極力少ない塗料を選びました。11 月の珪藻土の時に体験した「養生」がとても役立ちました。壁は綺麗に塗れ、お客様から新品になったとも言われるほどの出来です。



写真 2 職人さんからのレクチャー



写真 5 壁の塗装



写真 3 珪藻土作成



写真 6 認知症カフェの様子



写真 4 トイレ棚の引渡し

5. テーマの成果または活動結果

本年度は豪雨災害によりカフェのオープンまでは完成しませんでした。しかし、限られた時間の中の成果としては、①トイレ棚の作成、②壁を白く塗る、が完成しました。③家具の修理、④黒板壁の作成、⑤看板の作成、については引き続き作成を続けています。広町の地域交流スペースは、本年度で全て完成させるのではなく、毎年少しずつ改修を加えていく方針で事業所の了解を得ているので、来年度からも引き続きがんばります。

多世代交流カフェのオープンは現在未定ですが、天井・床の改修・テーブルの作成が完了すれば、オープニングイベントを行う予定です。

今年の私たちの活動は呉高専のHP「高専日誌」に掲載しています。5回活動を掲載しました。[URL] https://www.kure-nct.ac.jp/newdiary/2018/11/09_1.html。

6. まとめ

本テーマを通して、呉市の福祉関係者と高齢者との交流をすることができました。最初はラスターの職員との交流だけでしたが、安浦町の地域包括支援センターを新たな活動場所として加わったことにより、和恒会や安浦地域の子供たち、左官の職人さんなど、交流の輪が広がっています。

改修では、職員様からの依頼を実現しようと思いましたが、うまくいかない事も多く、試行錯誤の時期が長かったです。先生や先輩のアドバイスを受けながら作業をすすめ、知識も増えたと思います。来年度はさらに改修の技術を高め、作業を進めたいです。

3-7. 安浦町の認知症カフェに参加（写真6）

11月に壁を作成した、地域包括支援センターで月1回開催されている認知症カフェに参加しました。認知症カフェとは認知症に関わる人たちが交流するイベントのことです。作成した珪藻土の壁の紹介を行いました。また、高専生がコーヒーをドリップして提供するワークショップも行いました。バレンタインのお菓子を地域の方たちが用意してくれていたため、コーヒーは大変喜ばれました。広の地域交流スペースでも同じワークショップを行う予定です。

4. 外部との連携

□ 有限会社ラスター

〒737-012 広島県呉市広本町三丁目14番33号

[URL] <http://www.luster-homecare.jp/houjin.html>

□ 医療法人社団 和恒会

〒737-0143 広島県呉市広白石4丁目7番22号

[URL] <https://wakokai.jp/>